

おでかけワークショップ(一般社団法人 中濃法人会 美濃加茂支部)
ヒアリング・アンケート結果まとめ

美濃加茂市では現在、新庁舎整備ロードマップに記載されている各 STEP に基づきながら、新庁舎整備基本構想の再策定を行っています。

「みんなの新庁舎」を市民のみなさんと一緒につくっていくにあたり、今一度、ご意見をお聞きするために、おでかけワークショップを開催しました。

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年8月25日(金) 15:00~16:00

場所:商工会議所

参加者(事務局を除く):会員 15人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

◆災害について

参加者)

岐阜県には美濃加茂以外に市がありますが、60年以上経過した庁舎でまだやっている所は他にもあるのか。震度6のような地震が起きた時にどれくらいの世帯が崩れてしまうのか。市民の意見を聞くのも大事ですが、言いたい放題いう人がいるので揉めるのであって、ある時には決断が必要になってきます。市長、市役所建設部の慣れているプロにこのマスタープランを任せてもいいのではないかと思います。

市職員)

岐阜県内の中では、一番古い建物になっていることは間違いありません。やはり建て替えをしている各務原市や土岐市など、実は同じ場所に建て替えるというのは案外早く進みます。場所を変えらるとなると少し時間がかかるところもあります。今後、美濃加茂市も皆さんのお話をさせて頂く中で例えば今の場所にもう一度建てるという話や、あるいは違う所へ建て替えるかということもあるかもしれない。それによってスピード感も少しずつ変わってくるかと思っています。

新庁舎が水に浸かったとして 1、2 階が浸かって 3 階以上がしっかりと機能していて、災害の拠点となればいいのではという意見もあるので、そういった事もしっかりと踏まえながら、お話ししていきたいと思います。

市民の皆さんから話を聞けば聞くほど、色んな話が出てきます。最後は皆さんの一つの意見になることは、多分簡単にはいかないと思いますが、行政としてもまちづくりのプロフェッショナルとして我々が最後は、時間がかかりすぎる、お金がかかりすぎる、土砂災害の危険の可能性が高いなどを見極めて、しっかりと責任を持ってここにするとすることを議会に上程していく責任は我々にあると考えております。

参加者)

私は、関市に住んでいます。関の市役所、旧市役所は山の斜面に建って、駐車場も遠かったですし、今の立地は市民の方から水害が危ないとか、ちょっと不便だと言う意見もあります。

市職員)

美濃加茂市の場合、今の場所だと不便だという話、駐車場が狭い部分については、少しお話いただいています。場所的な事に対しての不満はないです。ただ、100 年や 1000 年に 1 回の災害で浸かる可能性は十分にあるという事は 1 つの問題点として挙げられています。

また、9 月号の広報誌をしっかりと見ていただいていると思うのでありがたいですが、実を言うと 40 年前に美濃加茂市は 9.28 災害の非常に大きな災害に遭っています。木曾川の水が十六銀行辺りまで浸かりました、あの時下水などがなっていなかったのも、相当な下水も溢れましたし、各家庭の畳も腐って、非常に大変な事になった事が市民の方の心の中に残っているところがあり、浸水がある所は嫌だという意見が非常に強いのは、美濃加茂の特徴であると思っています。

だからといって今のところに建ててはいけないという理由もないです。例えば 1、2 階は立体駐車場にして 3 階以上を災害拠点、対策本部にすることもできます。そこをどうしていかうかという所を皆さんと詰めていきたいなと思います。

参加者)

水害の話が出ましたが、浸かっている時間を考えれば、そこまで気にすることではないのかなと思います。本当にたくさんの意見を聞いてコンセプトをまとめるのは、非常に大変な作業だと思います。ですが、コンセプトを決めてそれに見合った庁舎を作っていただくのも大事だと思います。これから人口はそんなに増えることがないと思うので、その辺りも考えていただいた規模の調査を作って頂ければと思います。

市職員)

人口の話ですが、皆さんも地方創生という言葉を目にした方あるかと思いますが。少子化、高齢化が進み、人口減少して消滅可能性都市と言われた町もあります。美濃加茂はどこに入るかというと、実は微増ですが、人口がまだ増えている町でもあります。

そうすると外国人が増えているから、人口が増えているのだという方も非常に多くみえますが、日本人の人口もほぼ横ばいです。これもちょっと全国的には珍しい状況の町だからといってこれから人口が 6 万、7 万人と増えていくかということそれはさすがに無理だと思っています。地方創生として美濃加茂市も人口ビジョンを作りました。その時に美濃加茂市の人口はどこがピークで下がっていくかということ、2035 年から 2040 年くらいがピークになり、そこから下がっていく。この下がり幅を少しでも下げようと努力を

しましよとなりましたが、今おっしゃられたように人口が減っていき、当然税収も減っていくので、その時にあった庁舎という事も視野にいれながらぜひ考えていきたいと思ひます。

◆プロセスについて

参加者)

説明をお聞きして、非常に完成形を求めているように思ひます。色んなプランがあつて、そのプランの1つが出てくるとそれに付帯する色んな事項があります。

民主主義というのとは基本的にみんなができないから専門家に任せるといふことで、何を我々が求めているかといふと、完璧な市役所を求めているのではなく、毎日の行政を滞りなくやっていたただけであればいいと思ひています。もう少し柔らかくやっていたらとわかりやすいです。

市職員)

全体、プロセスをお話させていただきました。8 ページの中でこれまでのプロセスと新しいプロセスの事を説明させていただいたのですが、決して、過去のこのプロセスが悪かったかと言われるとそうではなく、全国でやっている流れと同じ流れ方をやっています。そこに対して問題はなかったと思ひていますが、ただその情報が市民に伝わっていなかったから、市民の皆さんから「いや、俺たち聞いてないよ。そんな話だったの?」といふ事で反対される方もおみえになったので、そこは我々もしっかり反省しなければならぬと思ひました。今回新しいプロセスで最初から市民の皆さんと話していこうと、プロの有識者をいれるのではなく、市民意見をまとめていこうといふ方向性になりました。我々も手探り状態で、全国でもこういった形で市役所、庁舎を作っていくケースは稀なので、もしかしたらこの方向性を変えなきゃいけないことも視野に入れていることをご理解していただきたいと思ひます。

参加者)

市の職員は行政のプロなので、大前提の条件から漏れるような候補地が出て困らないよう、「こういう条件の中から考えてくださいね」とある程度提示しておけば、そのスケジュールはもっと前倒しにならないですか。

市職員)

スケジュールを少しでも前倒ししたいところは、我々も事務局も同じ考え方です。少しでも早くとは思ひています。その為になんといった手法がいいかといふ部分について、その前提条件を先に出したりすることがいいのか。中にはそれを出すと市が誘導してしまうといふ批判も、前回たくさんありましたので、それらをどう見極めて、どのタイミングで出していくのか我々も今必死になって考えて進めています。これからステップ3をやっていく中でなんといった段階、あるいは4、5の中でなん出していくのかその辺も我々も見極めさせていただいていますので、ご理解いただきたいと思ひます。

◆SNS・媒体について

参加者)

SNS をといふ話があり、皆さんへ情報が行くとは思ひますが、美濃加茂以外の人が見ることができ、何かと問題を言ってくる場合もあるのではないかと思ひます。市の事は市で片付けていかないと思ひます。たくさん情報をもらっても、私達の町はやっぱり私達の町だといふ風に進めていかないと思ひまし

た。一遍に情報を市民に知ってもらおうというのは、ここでうたってしまうと逆にデメリットがあるものではないかなと感じました。

市職員)

SNS は本当に色んな方が見ていて、全国、世界のすべての方がみて、美濃加茂に関係ない方からもご意見がきつと出てくると思います。

実は昨年7月～8月にかけて市民4000人の方にアンケートをとりました。その時「どういった媒体を使って情報を得られますか？」という質問をさせていただきました。一番高かったのは広報誌です。広報誌で情報を得たいという人が非常に高かったです。ただそれを年齢層に分けてみますと、10.20.30代はやはりSNSが情報を得やすいと出ています。だからYahooニュースとかで取り上げてもらう形でもいいですけど、やはりインフルエンサーとして誰かに情報発信をしていただく。年配の方たちは割と新庁舎等に興味があるのですが、若い年齢の方たちがそういったことにあまり興味がないので、しっかり情報発信をして振り向いていただくことも大切だと思います。

当然リスクも踏まえた上で考えていく必要があるので、いただいた情報を鵜呑みにするのではなくて、しっかりと整理をした上でやっていく必要はあると思いますが、ありとあらゆる形での媒体を使って情報発信をしていきたいと考えております。

◆上位計画について

参加者)

立地適正化、コンパクトシティを盛んに言っていますが、それはまだ行政の色んな都市デザインをする考え方の中に残っていますか。例えば庁舎はその中で都市拠点に入ってきますよね。誘導区域内にその都市拠点というものを建設しないといけないということであれば、今回の手法をみるとアンケート等が主体になっていますが、最初の前提で網をかけないと、全くそのコンセプトから外れた候補地が出てこないかなと思います。

市職員)

立地適正化計画については、当然生きています。ただどんな計画でも何年かに1回は見直さなければならぬので、今後今の時代にあったものに変えていく可能性はあります。

今言われたように、この計画とまた違った答えが出てきたらどうするのかということもあると思います。複数の候補地のアンケートを行う前に、市としても前提条件を出していかなければならないと思います。例えば極端な話ですが、土砂災害のレッドゾーンと言われるところを1つに選ぶわけにいかないわけです。そういった事も踏まえながら、立地適正化計画や都市計画マスタープラン、美濃加茂の最上位計画である第6次総合計画にあったところが一体どこなのかということも踏まえた上で、最終的には整備地も絞っていく作業は必要になると思います。

◆見直し方法について

参加者)

2ヶ月前に転勤してきたばかりですが、一個人の意見として、基本構想、基本計画が全て白紙で構想の4候補地が白紙になったと記載がありますが、その理由が市民の意見の聴取が不十分であったのであれば、元々の基本のベース構想に市民の意見を整合させて、市の方からこういう案はどうですか？とやった

方が時間的にも短くなると思いますし、予算的にも新しく 1 からスタートするよりもかからないと思いますが、その辺はいかがですか。

市職員)

旧基本構想あるいは基本計画を策定するとき、市民の方たちとワークショップをずっとやっていました。その時の候補地が、実を言うと 8 ヶ所の候補地を市民の方から出していただいた。それを策定委員会の方で 4 つに絞り込み、その後、未来のまちづくり委員会で有識者たちが入って、4 つから 1 つに絞ってきた経緯があります。この 1 つになった事を説明会で市民の方にお話したら、やはり情報が伝わってなくて、いきなり 1 個でもってきたという話になってしまいました。しっかりと情報が市民の方に伝わってなかったと反省し、今回は最初から皆さんと一緒に考えてそれを絞り込んでいく作業になるので多少時間はかかるかなと思っています。

参加者)

きちんとした計画が出ているのを、初めて知ってびっくりしました。市にお金がいくらあって、いくらならこの調査に出せるのか、大体いくらくらいあればいいのかを考えて土地の購入を考えると、ここは無理だとかいいとかなるので、その辺りの絞り込みと、お金がどのくらいを考えてみえるのかなと思っています。

市職員)

市役所を作るのに 100 億かけてもいいよ。200 億かけてもいいよという意見もあるかもしれませんが、市民の生活をこれから支えていく行政がどれだけでも借金していいわけではないと思います。大体一般論で、他市町村が建てている庁舎が大体 50 とか 60 億という金額になります。

それが、新しく用地を取得するのか、あるいは元々持っていた土地なのかによっても変わってくると思いますし、市民の皆様から色々お話を聞いていると、ある程度賑わいとして、こういったものを入れた方がいいのではないかと、市役所の職員が働く場所なので、箱物でいいじゃないか、という意見もあります。それによって大きさが変わってきます。一般論として県内のものを調べる限り、50、60 億くらいはかかるかなと思います。人件費や資材が高騰している時代にどこまで抑えられるのかというのも我々はしっかり調査していくべきかと思っています。

◆市民と市職員について

参加者)

共通認識を得るということで、市の職員の認識と市民の方の認識の共通認識を得たということになっていますが、実際に新しい庁舎で働かれる職員の方たちが自分たちの意見が反映されているか、自分たちの思いが反映されていると思う事が出来れば、今後も優秀な人材が来るのかなと思います。

市の職員の方々も合意形成やワークショップに出て、職員の代表として出られると思いますので、作ってもらう形ではなくて、自分たちも参加して新しい庁舎を作ったと言えることができると納得感があっていいのではないかと思います。具体的なそういった活動が内部で話が出ているものなのでしょうか。

市職員)

昨年、市民 4000 人にアンケートを取った際に、実は職員にもアンケートを取り、市民の考え方と職員の考え方にどれくらいのずれがあるのか、今働いてるところで何が不便で、こうしたらもっと市民の方にも

っと利用していただけるんじゃないか等、意見を聴取しました。また、仕事が終わった後、生涯学習センターで説明会や意見交換会などもしていました。市民ワークショップを交えた結果をもって、市職員とも話し、やっていきたいと思っています。

◆新庁舎の規模について

参加者)

最近の市役所や県庁は市民の人口に合わせた大きさには似合わないような建物を建てていると感じ、もっとコンパクトでいいのではないかと思います。

市職員)

市民や市の職員の数から基本的な建物の大きさは国の基準が示されています。それに照らし合わせると今の庁舎は小さいです。小さくても、なんとかなっているのは、隣の生涯学習センターで会議室は使えるからというところがあります。これから建てる所で何か他の公共施設と隣あって会議室を上手く利用していければ、良いと思います。例えば関市のように郊外に建てて周りに他の公共施設がないとなった時は、会議室を作らないと回りません。大きくしないといけない場合もあるので、その辺はこれから建てる場所や機能、そういう事を見据えながら、どの大きさにしていくか考えていく。それによって費用も大きく変わるので、そこはしっかりと見極めていきたいと思っています。

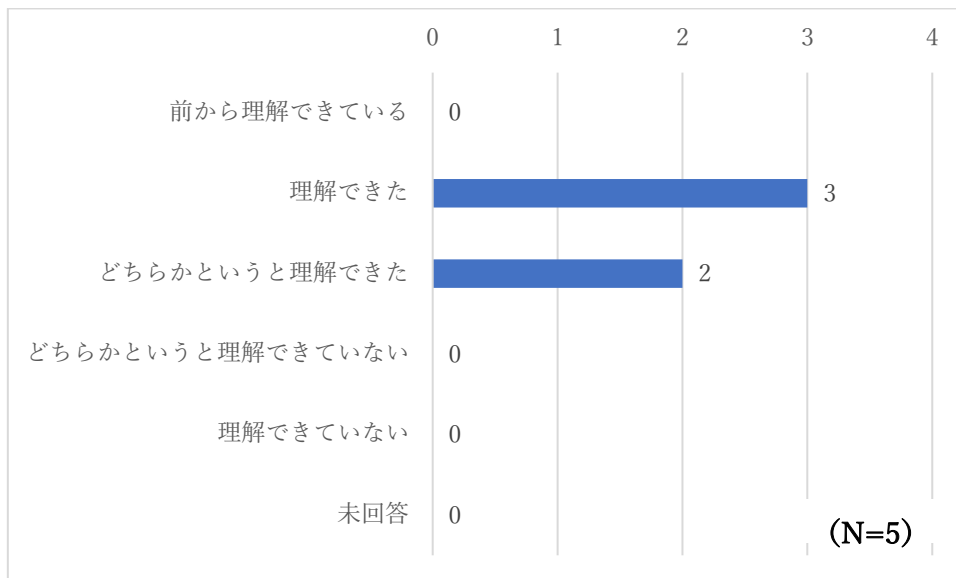
(2)アンケート結果の概要 ※回答者数 5名

問1. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備ロードマップ(検討プロセス)を理解することができましたか？

「理解できた」が最も多く、次いで「どちらかという理解できた」が続いた。

	回答者数【N=5】
前から理解できている	0
理解できた	3
どちらかという理解できた	2
どちらかという理解できていない	0
理解できていない	0
未回答	0
合計	5

図 1. 新庁舎整備の理解について

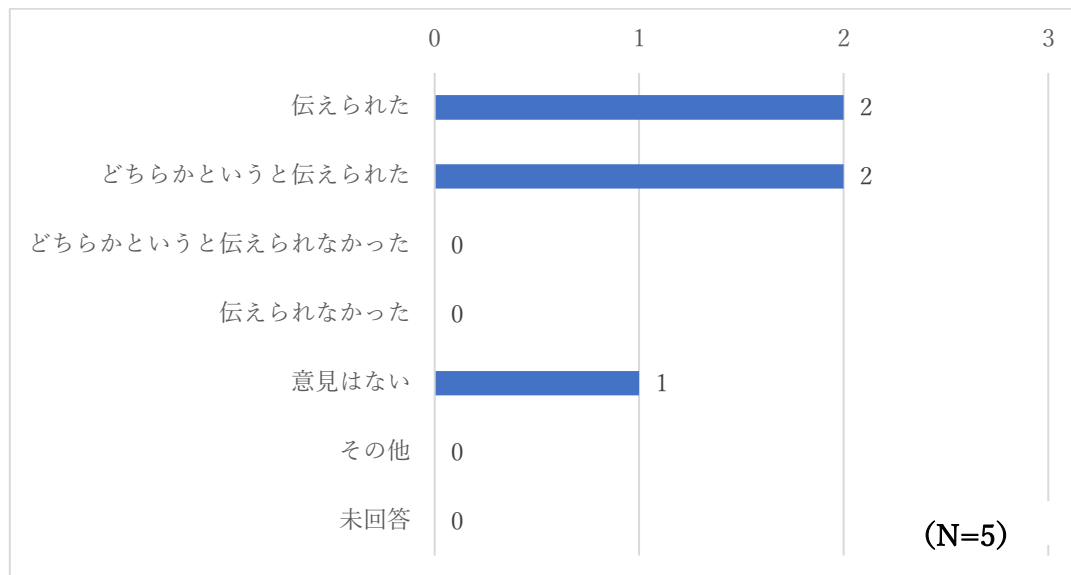


問 2. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備への意見を伝えられましたか？

「伝えられた」、「どちらかという伝えられた」が最も多く、次いで「意見はない」が続いた。

	回答者数【N=5】
伝えられた	2
どちらかという伝えられた	2
どちらかという伝えられなかった	0
伝えられなかった	0
意見はない	1
その他	0
未回答	0
合計	5

図 2. ワークショップでの意見について

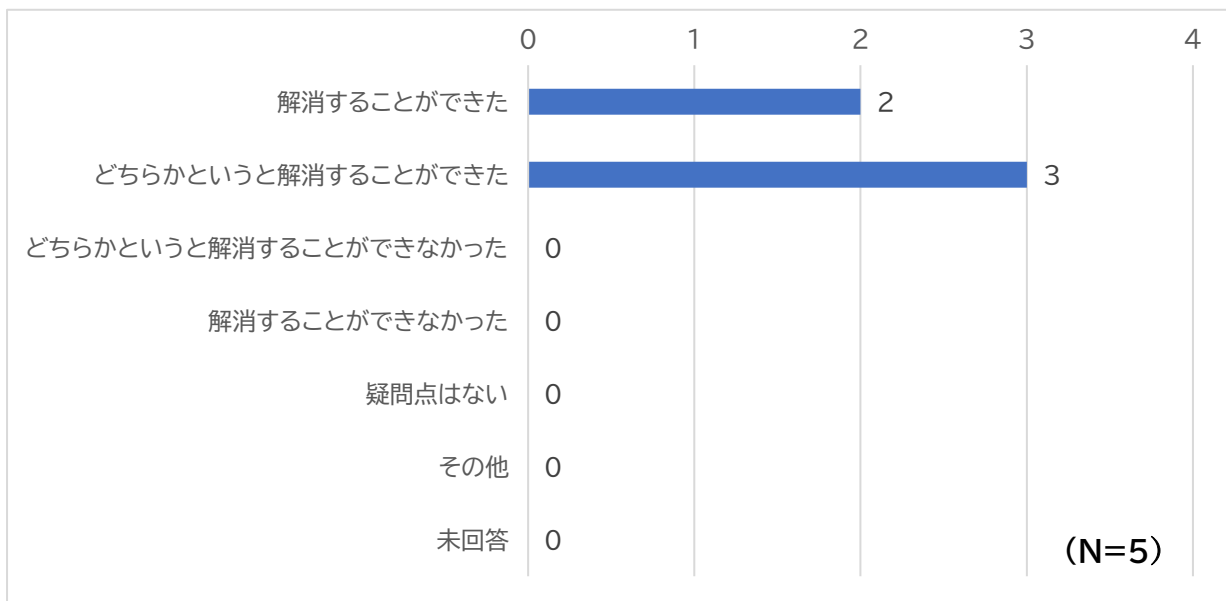


問 3. 本日のワークショップを通じて、新庁舎整備に対する疑問点を解消することができましたか？

「どちらかというと解消することができた」が最も多く、次いで「解消することができた」が続いた。

	回答者数【N=5】
解消することができた	2
どちらかというと解消することができた	3
どちらかというと解消することができなかった	0
解消することができなかった	0
疑問点はない	0
その他	0
未回答	0
合計	5

図 3. 新庁舎整備に対する疑問点解消について



○問3について、わからなかった・さらに知りたいと思ったことがありましたら教えてください。

◇自由意見

・市町村合併の話の再燃はないのか、合併した場合の検討は？庁舎は合併をした場合

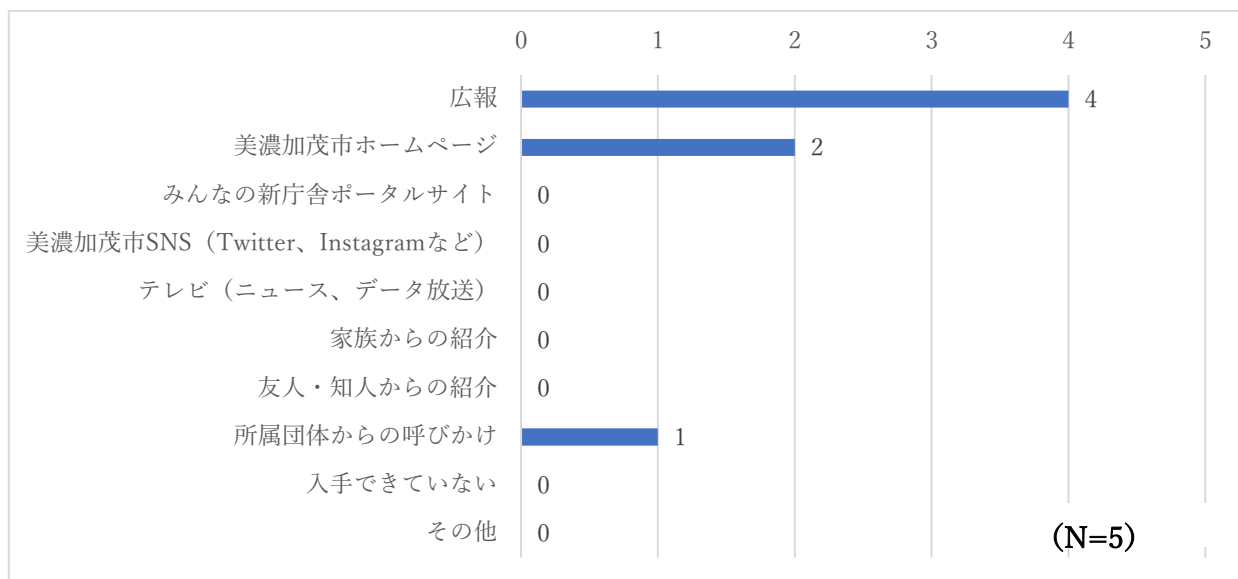
問 4. 新庁舎整備に関する情報をどのような方法で入手しましたか。(複数回答)

「広報」が最も多く、次いで「美濃加茂市ホームページ」が続いた。「所属団体からの呼びかけ」という意見もあった。

	回答者数【N=5】
広報	4
美濃加茂市ホームページ	2
みんなの新庁舎ポータルサイト	0
美濃加茂市 SNS(Twitter、Instagram など)	0
テレビ(ニュース、データ放送)	0
家族からの紹介	0
友人・知人からの紹介	0
所属団体からの呼びかけ	1
入手できていない	0
その他	0
合計	7

図 4. 新庁舎整備に関する情報について

※複数回答有



問 5. 新庁舎整備に望むことなど、その他ご意見がありましたらご自由にお書きください。

(自由記入)

◇自由意見

- ・他の市町からも頼られる行政と地域であり続けたい！交通の要で、他の市町から羨ましがられる美濃加茂市であり続けたい
- ・建設費を安くお願いします。